

左官工事マン

～鰻に魂、壁に未来～

本名：鰻田 直巳（こてだなおみ）

出身：宮城県石巻市出身

#4

幼いころから粘土遊びや砂場で造形をするのが好きで、手先の器用さは近所でも評判だった。東日本大震災で家の壁が崩れ、地域の左官職人が泥まみれで壁を直す姿を見て、「俺も人の暮らしを治せる職人になりたい」と心に刻む。高校卒業後、仙台の老舗左官店に弟子入り。朝5時からの現場、夏の猛暑、冬の凍る現場を越え、3年で頭角を現す。若いのに玄人顔負けの鰻さばきで、「石巻の神の手」と呼ばれるようになる。建設業の人手不足が深刻になっていた2020年代後半、左官の魅力を若者に伝えるため、ヒーロー化プロジェクトが始動。その中心として選ばれたのが鰻田直巳。若い職人代表としてSNSで施工動画を発信したところ人气が爆発し、ついに「大工工事マン」を背負うこととなった。現在は、全国の現場を飛び回り、左官技術の普及に奮闘。若手育成プロジェクトでは講師として活動し、珪藻土壁や伝統の漆喰技法の保存にも取り組む。夢は「日本一美しい内壁を作ること」

代表技：漆喰ホワイトサンダー、一発かき落とし・ミラクルストローク

